



## 5 月 例 会 報 告

甲府クラブ5月例会は5月10日(火)、ホテル談露館で開催されました。司会はピーターマウントフォードさん、石川和弘会長の点鐘で定刻通り始まりしました。会長の挨拶では、5月以降催される各種行事への参加要請がありました。

食前の祈りは、故大澤英二会員亡き後、例会へ毎回出席されている大澤祥子さんをお願いしました。

今月のワイズディナーは弁当ではありますが久しぶりに会場での会食でした。以前のように賑やかではなく、各自黙々と食べました。

ゲスト卓話は、これも久しぶりの外部講師です。神奈川出身で、山登りやクライミング好きが高じて、南アルプス市に移住してきた養蜂家の梅澤直美様から「ミツバチが幸せに生きる



環境～人や地域が幸せになる環境～を目指して」というテーマでお話しを伺いました。梅澤さんは、県内各地でミツバチのポリネーション(花粉交配)を行い、それが地域農業の活性化にも繋がっていること、残留農薬のない安心・安全な蜂蜜の生産・販売



に取り組んでいること(730HONEY=ナミオハニーというブランド)、地域資源を再利用した養蜂での地域観光の活性化を目指していること等を話されました。身近にハチミツを消費していま

すが、その背景には地球の、地域の生態系と深く関わっていることに驚きました。会場ではハチミツも販売され、あっという間に完売しました。

諸報告は、5月21日に迫った「山梨YMCAチャリティーラン」について渡辺徳之さんから当日の注意事項等が説明されました。また、仙洞田からは6月11日に設立総会を迎える「甲府やまなみクラブ」の設立経過報告をいたしました。ハッピーバースデーを祝し、閉会点鐘となりました。(仙洞田安宏)

## 5 月 役 員 会 報 告

◎5月24日(火) 18:30～20:00 山梨YMCA

◎出席者:石川(和)・渡辺・廣瀬・田草川・丹後・マウントフォード・仙洞田・標

【報告事項】(本ブリテンに掲載事項は省略)

▽5月12日(木):チャリティーラン第5回実行委員会 YMCA、出席者:渡辺、小倉、仙洞田、廣瀬

▽5月19日(木):チャリティーラン第6回実行委員会 YMCA、出席者:石川(和)、渡辺、小倉、標、仙洞田、廣瀬

【協議事項】

▽6月例会について:6月14日(火)、担当・役員会、会場・談露館、ディナーは弁当、プログラムは各委員会の年間報告

▽次年度の準備について:役員構成を決定、事業計画及び収支予算作成スケジュールとして、原稿締切6月30日、まとめ7月1日～6日、印刷製本7月7日とする。

▽今年度の事業報告について:スケジュールは事業計画と同じ

▽東日本区大会への対応について:参加者を5月末までに連絡する。

▽やまなみクラブ設立総会について:会場を談露館に変更、準備日程、会費、当日の役割等を確認

【その他】

▽秋山仁博会員から、健康上の理由で今年度末での退会届けが提出され、了承した。

▽宮本秀憲会員に二世が誕生したので、会則に則り、記念品(聖書絵本)を贈る。

▽東日本区のスマホ動画アンケートについて:6月例会で確認し、6月20日までに回答する。

(書記・廣瀬静男)

## (仮) 甲府やまなみクラブ第4回仮例会

第4回仮例会は、5月13日(金)に開催しました。6月11日の設立総会に向けての準備の例会でした。

新クラブで予定している二つの事業について詳細を相談しました。また、予算案、行事予定について仙洞田が資料を配布し、検討しました。

さらに、バナーのデザインについても意見を出し合い、細かい修正をすることになりました。

今回の出席者は新しくメンバーに加わって頂ける方も含め7人でした。これで新クラブの会員数は10人となり、当初の目標に達する事ができました。

なお、設立総会はコロナ禍の折、懇親会を控えるという主旨で藤村記念館を予定していましたが、その後、食事の要望も出たことから、ホテル談露館に変更しました。(仙洞田安宏)



### 第3回あずさ部善光寺御開帳評議会

5月14日(土)、第3回あずさ部評議会(善光寺御開帳評議会)が、長野クラブのホストにより長野市ホテルメトロポリタンで53名が参加し開催されました。甲府クラブから7名(石川和、渡辺、仙洞田、ピーターM、標、廣瀬、田中-敬称略)が参加しました。

長谷川あずさ部部長の開会点鐘で始まり、議案審議3件(次年度あずさ部長活動方針承認の件、次年度予算案承認の件、次年度あずさ部部大会・評議会承認の件)、報告事項4件(今年度後期部長活動

報告、今年度後期事業主査活動報告、各クラブ会長活動報告、部エクステンション委員会報告)の内容で評議会は進められつつがなく終了しました。

評議会後は、懇親会が行われコロナ禍により黙食を考慮し、ホスト長野クラブが趣向をこらし、ハンドベル、フルーツ演奏、福島住職の善光寺のここだけの話、善光寺御開帳にまつわる落語が催され有意義な時間を過ごしました。次年度の第2回評議会は、2023年2月11日(土)、甲府クラブがホストクラブとして実施されます。会員一同でおもてなし出来ればと思っています。(田中克男)



### 第24回山梨YMCAチャリティーラン

今年で24回目を迎えた山梨YMCAインターナショナル・チャリティーランは、5月21日(土)小瀬スポーツ公園陸上競技場補助競技場で開催されました。この大会は始め同公園のジョギングコースを中心に公園内通路で開催されましたが、年々規模の拡大と同公園利用者との安全確保が問題となり、陸上競技場へ会場を移し開催しましたが、同競技場がサッカーリーグの会場となった事から会場確保が困難となり、再度現在の補助競技場へ変更して現在に至っています。

今年では早朝から霧雨となり、天候を心配しつつ準備を行いました。開会式を行う頃から雨も上がり何とか無事終了出来ました事はYMCA関係者の熱い思い

とご支援の賜物と言えます。

当クラブでも早朝から多くのメン・メネットの皆さんに御参加頂き誠にご苦労様でした。当日は、例年通り当クラブは会場設営を主に担当し、メネットはラッフル等を担当致しました。その他、例年通り司会に丹後会員と写真撮影に標会員が活躍しておりました。

レースの運営は甲府21クラブが担当し、今年もコロナ対応の為例年の方式を変更して、子供の部・成人の部等に分けて競技場内で実施されました。

また、会場の一角には富士五湖クラブとその関係者によるフライングディスクのコーナーも設けられ楽しい集いを盛り上げておりました。

全般的には予定時刻に終了出来、また心配した天候にも何とか恵まれ無事終了出来たと思います。

この大会が来年に向けてさらに良い大会になるよう課題を検証し皆で盛り上げて行きたいと思います。

甲府クラブ参加者 メン:荒川・石川(和)・小倉・標・仙洞田・田草川・田中・丹後・中田・マウントフォード・廣瀬・山崎・渡辺、メネット:荒川・小倉・標・中島・山崎、コメント:丹後修、ゲスト:大澤祥子  
(渡辺徳之)



**富士五湖クラブ・フライディングディスク**

5月7日(土)、富士吉田市にある富士パインズパークは新緑に恵まれて、八重桜の花が咲き誇っていました。雲は爽やかな風に吹かれて、晴れたり曇ったりでした。

この快適な初夏の日に富士五湖クラブは「第11回障がい者フライングディスク競技大会in北麓」を開催しました。選手たちおよそ70人が集まって、障がい者フライングディスク大会実行委員会(8人)と富士五湖クラブのメンバーに加え、甲府クラブ、甲府21クラブとあずさ部部長等、およそ20人も大会の手伝いに参加しました。

開会式後、始投式に長谷川あずさ部部長、荻野あずさ部CS主査、佐藤次期東日本区理事がディスクを投げて競技を開始しました。そして、11チームに分けられた選手たちは三つの的の前に個人の技能に合わせた距離からフープを狙って一生懸命10枚のディスクを投げました。そして、各チームの個人結果は一等賞、二等賞、三等賞のメダルと残念賞を受賞されました。

大会はお昼頃無事に終了しました。お弁当は富士五湖クラブの望月さんのところで食べました。その後、近くにある御師の家と原会長の工房を見学しました。  
甲府クラブ参加者: 石川会長、標夫妻、ピーターM (ピーターマウントフォード)



《今月のことばについて》 荒川 洋一

「右の頬を打たれたら、左の頬を差し出さない」この言葉には、いろいろな解釈があるようですが、地球上で戦争が続いています。毎日、戦況がTVなどで報道されています。北欧の国がNATOに加盟するとかしないとかいわれています。国境を接する国がいきなり攻めてきた時にどうするか？自分たちの国をどのように守るのか？私たちは難しい時代に生きています。

**YMCA  
たより**

「喜び・祈り・感謝」

山梨YMCA 総主事

中田 純子

5月21日土曜日、「山梨YMCAインターナショナルチャリティーラン2022」が無事に開催されました。当日実施決定後から雨が降り出し、不安を覚え祈りながら準備をはじめた運営関係者。しかし、開会式と同時に雨が上がり、予定通り実施することが出来、素晴らしい大会となりました。本当に感謝申し上げます。

今回ワイズメンズクラブから80名ほどの皆様にご協力頂きました。実施まで6回の実行委員会を重ねました。お忙しい中出席して下さいましたワイズメンズクラブの皆様、関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。新米総主事の私にとって、この日は喜びと感謝に溢れた忘れられない一日となり、2022年度の山梨YMCA基本聖句テサロニケの信徒への手紙「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」信徒への手紙一5章16～18節を実感いたしました。

山梨YMCAはワイズメンズクラブの皆様と共にこのような豊かな歩みを与えられていることは、全国のYMCA運動の中でも特に誇れることであり、喜びと感謝そのものです。これからも、ワイズメンズクラブとYMCAの良きパートナーシップが山梨の地においてよりよい地域づくり、人づくりのための助けとなれるように祈ります。



【勢揃いした YMCA スタッフ】

6月アニバーサリー

宮本 秀憲・由香(5日)

6月 ハッピーバースデー

メン:根津 宏次(1日) 神山 玄太(2日)

石川 和弘(17日)

メネット:内藤 いづみ(6日) 宮本 由香(5日)

仙洞田 克子(12日)